




カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001認証取得済み 法令遵守・規格要求を仕組みに落とし込み事業活動を推進している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針・取組みについてホームページで公開している									12.6									
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・環境に配慮し社内照明機器のLED化を進めている							7.2						13					
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン購入法に基づき取り組んでいる ・裏紙、両面印刷、再生紙利用を行っている										12.2	13	14	15					
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則において、従業員規律を定め、社内浸透を図っている																	16	16.5
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則において、従業員規律を定め、社内浸透を図っている																		16
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・職務発明規程において、特許・商標等知的財産権の取得・管理を行なっている ・知的財産権の不正使用禁止を教育している								8.2	8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・就業規則において、「個人情報管理義務」を規定し、漏洩・滅失又は毀損等を防止している ・個人情報保護管理責任者を選任しHPIに公開している																		16
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・当該品の取り扱いについてはMSDSを取得し確認管理している																		16
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先と情報共有を行い、必要な情報提供、必要に応じて契約を結んでいる					5				8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・取扱製品を顧客に提案する際、性能・効率性等と合わせ、安全性の視点からも検討し提案している			3.9									12.4						
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・取扱製品を顧客に提案する際、性能・効率性・使い易さの視点から検討し提案している																	9	
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境にやさしい製品の提案を行っている						6							12	13	14	15		
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・脱炭素(温室効果ガス排出削減)に資する省エネ製品、生産労働人口の減少や働き方改革に資する省人化製品の提案を実践している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地元採用により雇用を創出している ・地域のイベント等への参加・協賛				4					9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・上川アダプトプログラム、市民の森育林祭等へ参加 ・フードバンク信州「コロナ対応 子ども応援プロジェクト」への参加、社員が地元行事に参加している				4							11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元採用により雇用を創出している									8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・基本理念を明文化している ・中期経営計画を策定し社内共有が図られている ・定期的なトップ診断を実施している									8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・EMSの中に落とし込み、環境法令について社内遵守状況を評価している																		16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・管理部、ISO推進事務局を担当に設置している																		16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・全店連絡会議やGT会議(ともに月次開催)による社内共有、ナンシン会・各種特約店会出席による社外共有を行っている																	16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・EMS活動の中でリスクを特定し、4半期毎のトップ診断で評価を行っている																		16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・グループ基本理念・環境方針、EMSの運用によりCSRを念頭に置いた取組みがなされている																		16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定										9		11		13 13.1				16
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営陣による事業承継に関わる検討がなされている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）